

IEEJ Industry Applications Society News Letter

電気学会産業応用部門ニュースレター 2010年9月号 (http://www2.iee.or.jp/ver2/ias/22-newsletter/nl_2010.html)

「産業応用部門の編修広報」



電気学会 産業応用部門 編修広報委員会委員長
藤田 光悦 (富士電機システムズ(株))

6月から1年間、平成22年度の部門編修広報委員会委員長を担当させていただきます。産業応用部門には、編修広報委員会の他に研究調査運営委員会、国際化委員会、論文委員会があります。当委員会は、これらの委員会と綿密な連携をとり、堀前部門長、玉井部門長と続いている部門改革推進に対し、タイムリーにその活動成果を会員の皆様にお伝えしたいと思っております。具体的な媒体としては、以下で述べるニュースレターと産業応用部門ホームページですが、おのずからその役割が異なります。ここではそのメディア（媒体）の役割と今後の展開をお知らせすると共に、電気学会編修会議で議論が行われているトピックスを紹介致します。

・ ニュースレター

ニュースレターは、現在、部門誌と一緒に皆様のお手元にお届けしていますが、後述の通り来年度（平成23年度5月号）より部門誌冊子体の廃止により、部門と皆様をダイレクトにつなぐ唯一のメディアとなるため、限られた誌面の中で皆様が今一番知りたい情報を的確に伝える必要があります。ニュースレターで定期的に掲載されている項目としては、巻頭言、産業応用フォーラム開催案内、学会情報、技術開発レポート、研究グループ紹介、部門大会開催案内、国際会議情報などですが、巻頭言の充実に取組みたいと考えています。巻頭言は、部門表彰受賞候補者推薦の様に、どうしてもその時期に皆様にお伝えする必要のある記事と時期に対してある程度の尤度を持った記事があります。特に後者は、部門としてのマニフェストやオピニオン、更には皆様にする問題提起など、単なる情報発信だけでなく部門が抱える課題の共有と解決に向けた意見の収集といった役割があります。今年度、研究調査運営委員会は、大きなChangeを実行します（詳細は、2009年度11月号参照）が、このような取組みに対し、成果や今後の課題などを巻頭言の中で紹介しながら、皆様からのご意見をいただくことで更なる改善にチャレンジしたいと考えます。

・ 産業応用部門ホームページ

会員の皆様のサービス向上に対し、ホームページの果たす役割の高さについては議論の余地は無いと思われます。昨年度、竹下前委員長の下、部門独自のホームページ更新に関する運用が取組まれ、組織的な更新が可能となりましたので、今年度はそれを存分に活用し、内容の充実を図りたいと考えております。しかしながら、当委員会の限られた委員による情報収集には限度がありますので、皆様から有意義な情報をお寄せいただきたいと考えておりますが、現行システムでは皆様からの情報、ご意見をうまく取り込むシステムが出来ているとは申せません。具体的な方法をここで述べるには至りませんが、ホームページにおけるインターラクティブ性の向上は、今後の大きな課題として認識したいと思います。

・ 電気学会の編修会議の検討事項

学会の重要な業務の一つとして、学会誌ならびに論文誌（部門誌）の発行を行う編修会議があります。ここでは、学会全体の編修事業に対し、最近の検討内容を紹介致します。

学会誌は、記事体裁を大幅に刷新したことにより大変読みやすくなったとの印象を持たれた方も多いと思います。多くの読者にとって有益な情報を与えることはもちろん、親しみやすさなどにも注目して。特集記事はじめ各種コラムの充実を図っています。

論文誌については、何といたっても平成23年5月号より開始される冊子体の配布中止（電子ジャーナル化）に向けての準備が最も重要な取組みになっております。これは論文掲載料の値下げとセットで行われるものですが、海外からの外国人投稿への対応など、細かい詰めを行っています。

部門役員会では、「D部門がやらずして・・・」の精神に基づき様々な取組みを行います。これらの結果をはじめ会員皆様にとって有益な情報を提供していく所存ですので、皆様からのご意見、ご支援もよろしくお願い申し上げます。